

中期経営計画2023 (PTC事業部)

2022/2/17

 住友重機械工業株式会社

専務執行役員 PTC事業部長
土屋 泰次

INDEX

01 事業概要

02 「中期経営計画2023」
および長期事業計画

01

事業概要

01

事業概要－商品と製造拠点

SBU	製品群	主要製品	製造拠点			
ギヤモータ (GM)	中型減速機 インバーター	Cyclo BBB	<ul style="list-style-type: none"> ・日本(名古屋) ・中国 (天津、上海) ・ベトナム ・ドイツ・米国 			
	小型減速機	Altax Hyponic				
MCD	精密制御用減速機	IBシリーズ Fシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本(名古屋) ・中国(上海) ・ドイツ 			
ギヤボックス (GB)	中大型汎用減速機	Paramax Hansen P4	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 (岡山、大阪) ・中国(唐山) ・ブラジル ・ベルギー 			
	特殊大型減速機	Hedcon 遊星減速機 高速ギア				
電機 制御	高効率モータ インバータ	Lafert Invertek	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア ・スロベニア ・中国 ・イギリス 			

02

「中期経営計画2023」 および長期事業想定

02 「中期経営計画2023」

■ 中計23（メカトロニクスセグメント）

（億円）

	2020年度 実績	2021年度 計画	2023年度 計画
売上高	1,334	1,630	1,760
営業利益	31	75	100
営業利益率	2.3%	4.6%	5.7%

<2021年度>

- ・ 足元はコロナ禍で停滞していた市場が一転し、国内海外ともに受注が急回復

<2022-2023年度>

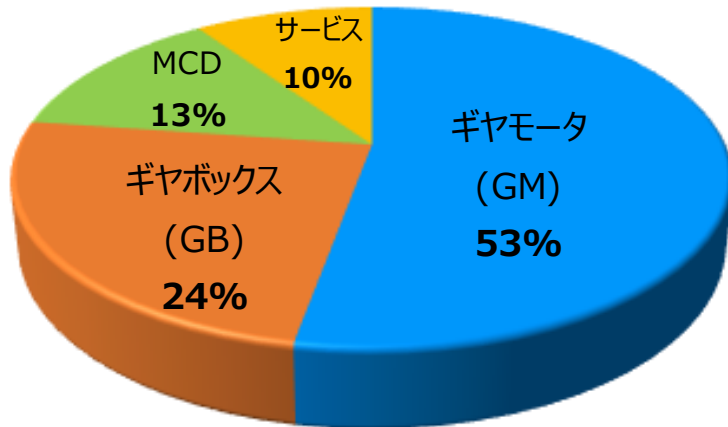
- ・ 設備投資が活発化する自動化、省人化関連及び電動化等、新たな需要を確実に取り込み、電機制御、MCD分野での成長を加速させる
- ・ 物流、ロボティクス、食品、環境・エネルギーを重点セグメントと位置づけ、幅広い業種でシェアを拡大
- ・ インストールベースビジネスとして、旧来のサービスに加えエンドユーザーへのソリューション提案力を強化
- ・ トップラインを伸ばし収益性を改善

02 機種別売上構成

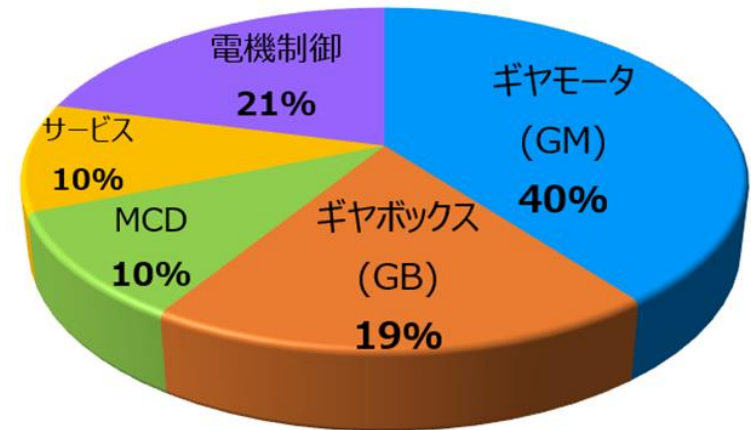
機種別売上構成

(旧機械コンポーネントセグメント、グローバル)

2017年度実績



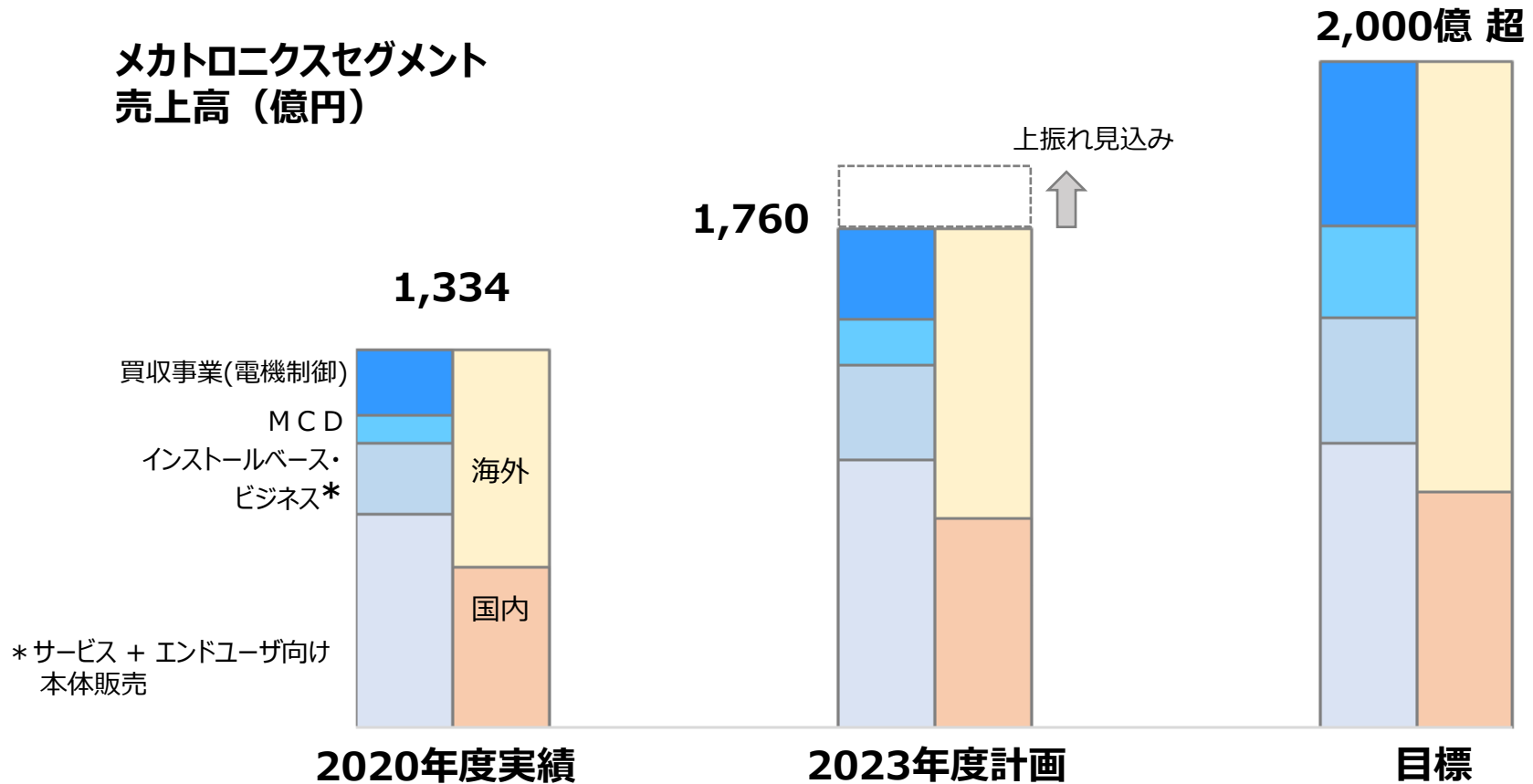
2021年度計画



買収により電機制御がポートフォリオに加わる

02 事業成長の考え方

メカトロニクスセグメント 売上高（億円）


















買収事業（電機制御）：顧客の高効率化・自動化・電動化対応の需要を取り込み成長
 MCD事業：成長市場でのシェア拡大による伸長
 インストールベースビジネス：顧客視点でのソリューション提案による拡大

02 地域別市場の見通し

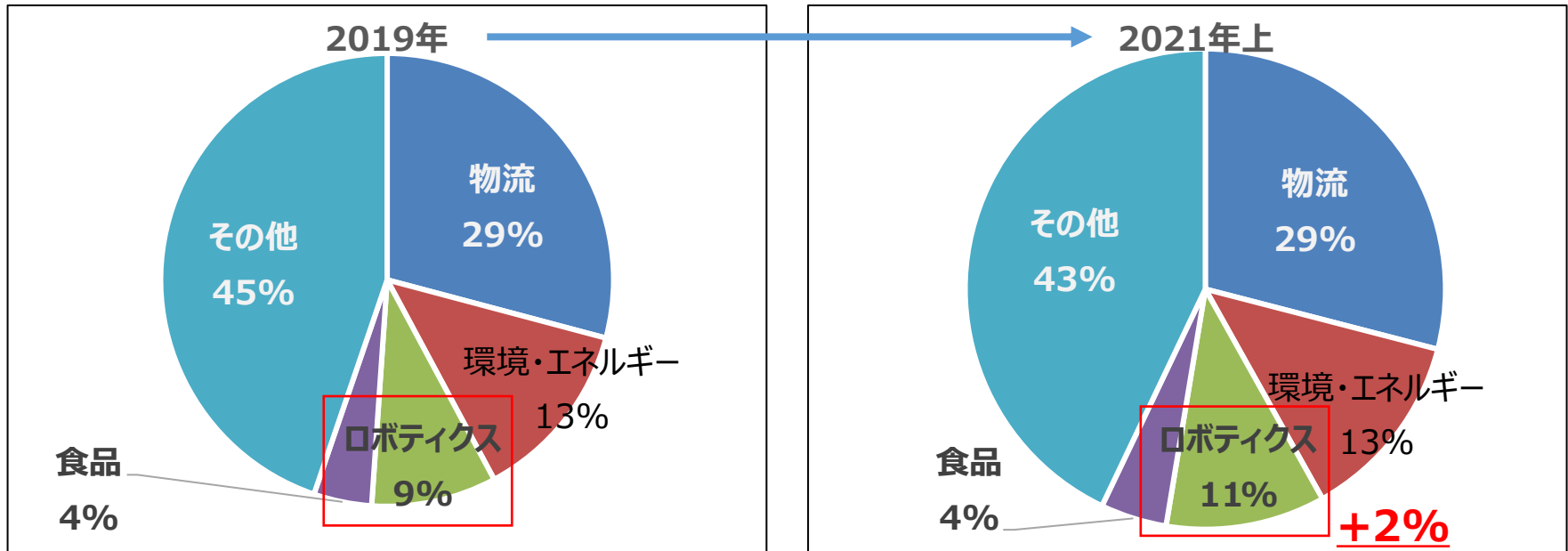
■ 地域別見通し (GM・GB・MCD)

*需要予測は、Interaxt Analysis社2021レポート(2021)より推計

	日本	米州	欧州	中国	アジア
直近 需要見通し	・物流/半導体の伸長 (Eコマース、EV化の設備更新自動化)	・インフラ投資拡大 (含む鉱山関連)	・自動化/EV化投資拡大	・EV関連ロボット需要拡大	・全般的に回復 (供給過多により医療用向けは減少)
	・省人化投資増加	・物流、食品の成長	・環境投資 (高効率化、省エネ)	・不動産、電力関連動向注視要 (政府方針)	・脱炭素を背景に石炭から他資源 (鉄鉱石等)へ変化
*需要予測 (CAGR 20→25)	GM :104% GB :102% MCD :108%	GM :105% GB :104% MCD :106%	GM :105% GB :104% MCD :107%	GM :108% GB :104% MCD :111%	GM :106% GB :104% MCD :104%
市場シェア (弊社推計値)	55%	北米:11% 中南米:8%	3%	5%	15%
直近セグメント 動向	物流 	物流 	環境 	ロボティクス 	食品 
	ロボティクス 	食品 	工作機械 	物流 	農業 
	自動車 	鉱山 	食品 	エネルギー 	鉱山 

02 国内のセグメント別売上金額

19年度→21年度上期 売上金額（月平均）比較



- 物流、ロボティクス、食品、環境・エネルギーの4つの重点セグメントが売上全体の約60%を占める。
- ロボティクスは特に重点的に注力しており、売上全体に占める比率は2019年比で+2%増加。
- 概ね、4つの重点セグメントの構成比率に大きな変化はなし。

02 買収事業の強化（電機制御）

概要

Lafert社（イタリア、2018年5月買収）

◆ 産業用モータの開発製造販売



高効率/汎用誘導モータ 高効率磁石モータ サーボモータ

- 顧客関係性・カスタマイズ力に強み
- 多岐なアプリケーション(空調、ポンプ、繊維機械等)

Invertek社（英国、2019年11月買収）

◆ インバータの開発製造販売



- 空調・ポンプ・オートメーション向けなど
- 省エネ向けアプリケーションに強み、短納期対応

買収の狙い

電機制御分野への事業領域拡張

- モータ/インバータに関する技術と生産拠点獲得
- 環境問題をリードする欧州での事業拡大
- 減速機とのバンドル製品/一体型製品の開発
→ ターゲット市場攻略

物流搬送(マテハン)



電動化



エネルギー・環境



ロボット, 位置決め

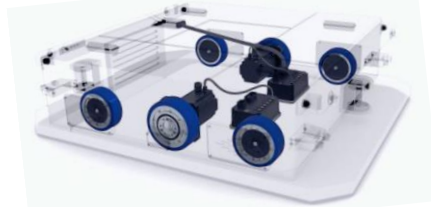


02 買収事業の強化（電機制御）

PMI (Post-merger Integration = 買収後の統合活動)によるシナジー追求

新商品開発

- AMR用モジュール開発



- モータ+インバータバンドル製品



高効率モータとVFD(インバータ)
の組み合わせ販売

→ 省エネ、調整時間短縮 実現

クロスセル

- 既存のPTCの販売チャネルで拡販



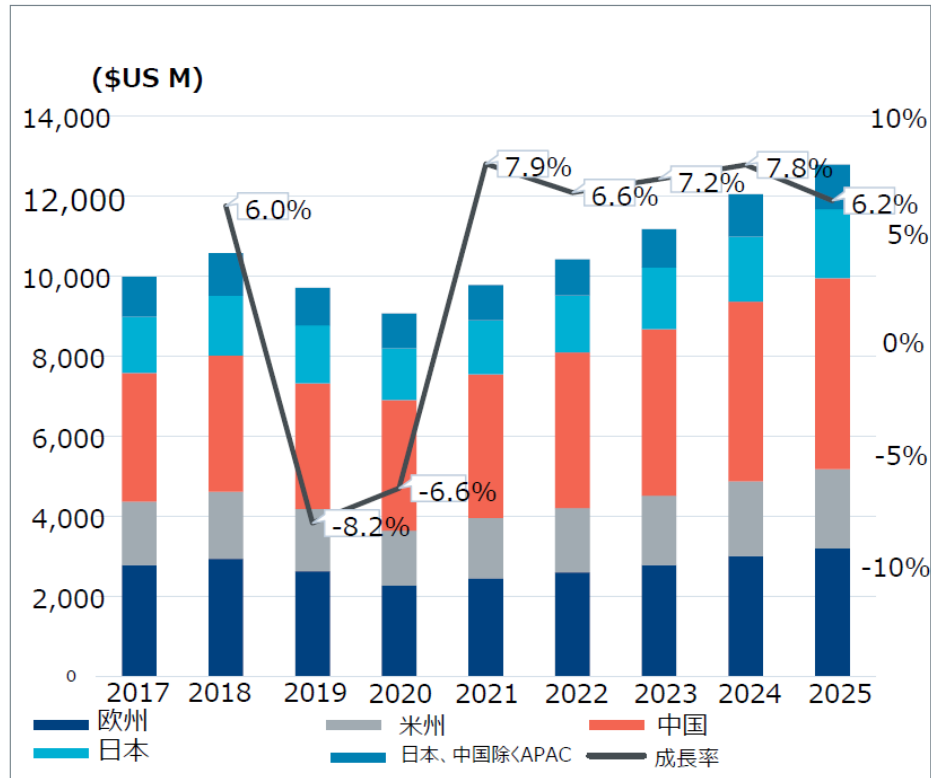
(顧客向けインバータのオンライン講習)

環境・サステナビリティ対応

- 高効率モータ
Lafertの高効率用技術をPTCギヤモータへ取込み
- 電動化
モータによる油圧、空圧駆動装置の置換え需要対応

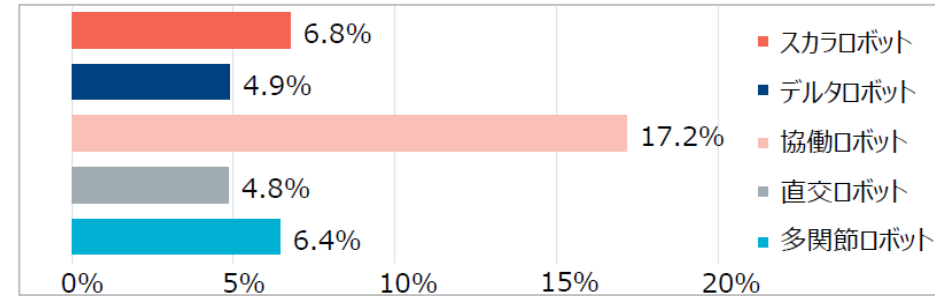
02 MCD事業強化

■ 産業用ロボット グローバル市場・成長率



製造業における自動化・省人化の更なる要求
⇒21年以降、年6-7%の市場成長

■ 産業用小型ロボット 用途別成長率 (2020-2025年)



小型ロボット市場の見込み

⇒小型軽量用ロボット (20kg可搬)

協働ロボット、サービス、ハンドリング用途に
大きな伸び



協働ロボット

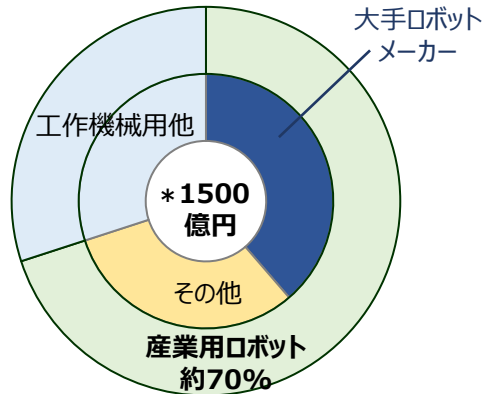


小型ハンドリングロボット

(産業用ロボットデータ : Confidential. © 2021 Interact Analysis. All Rights Reserved)

02 MCD事業強化

■ ゼロバックラッシュ減速機市場



■ 現中計での製造能力向上



ベトナム第4工場（2019年稼働開始）



名古屋PTC第2工場（2020年稼働開始）

【現中計での事業強化方策】

- 自動化、省人化ニーズで伸長する産業用ロボット市場に継続注力
- 大手ロボットメーカーでのシェアアップ（特に中型、小型機種）
- 顧客との連携強化
- 次世代ロボット用コンポーネントの開発
- 基盤技術強化



DAシリーズ
扁平、小型



ECYシリーズ
小型ロボット

➤ これまでの投資

- 新工場（名古屋、ベトナム）
- 生産能力向上投資（設備）

➤ 今後の計画

- 生産設備（能力拡大）
- 自動化投資（生産性向上）
- S/C投資（リスク分散）

*市場規模、内訳は弊社推測

02 インストールベースビジネス

PTC



【現在の商流】

- ・OEM
- ・代理店
- ・セットメーカー

エンドユーザー



↑ インストールベースビジネス（顧客視点でのソリューション提案） ↓

【食の安全】
・錆びないGM
（ステンレスGM）



IE4/IE5クラス
磁石モータ



インバータ搭載型
磁石モータ



【省エネ】
・高効率モータ
・インバータ



【他社製置き換え】
・オーバーホール
・アップグレード
・他社製GB修理
・精密診断



ミッション

「動かすを最適化して、社会・顧客の課題解決に貢献する」
地球の住民として、顧客とともに、パートナーとともに。

PTCの果たすべき役割

「動かすを最適化」

顧客視点

変化に対応する技術力、製造力

PTCの事業目的

「社会・顧客の課題解決に貢献」

責任：地球環境、ウェルビーイング

機会：成長戦略の柱



気候変動への対応

エネルギー効率向上

労働生産性向上

ウェルビーイングの実現

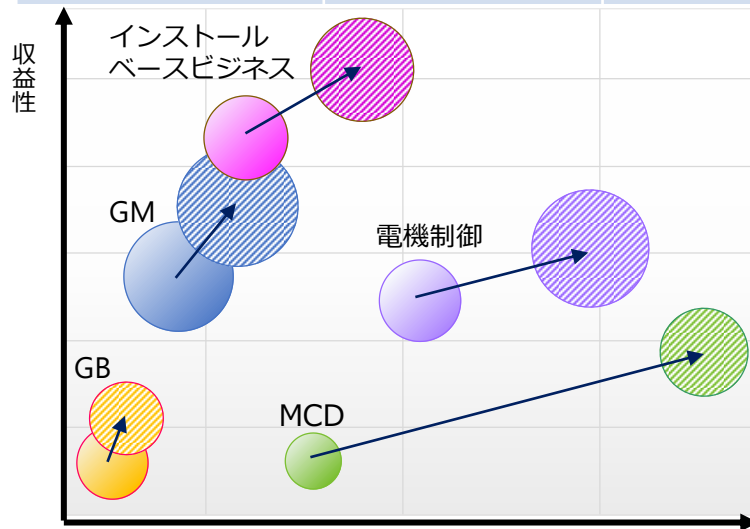
CO2削減

自動化、省人化
労働安全性、
食の安全
地域貢献

02 事業の役割と将来投資の考え方

■ 事業の役割と将来投資の考え方

事業	事業の役割	事業課題と投資方針
電機制御	成長	高効率、自動化、電動化対応、PTCとのシナジー追求と増産体制構築
MCD	成長	シェア拡大と収益性向上（高精度化、増産対応、新商品開発）
インストールベースビジネス	高収益	顧客視点でのソリューション提案力向上
GM	高収益	GM各工場の工場変革（高精度化、自動化、IoT対応） サプライチェーン変革（BCP対応、関税対応等含む）
GB	安定収益	GB各工場の収益安定化



■ 事業別売上高成長と収益性

- ・今期中計（19→22）⇒次期中計（23→26）での伸び
- ・バブルの大きさは売上高規模イメージ

成長事業及び社会課題解決への
重点投資



住友重機械工業株式会社

将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。